

出会う・つながる ～子育て支援「ばぶばぶ」

■担当部署 営業局広告部、同アド・クリエイト部、同事業部、同生活情報紙 fit 編集部、販売局販売部、編集局報道部、同メディア戦略部、総務局総務部
■連絡先 営業局アド・クリエイト部 / 電話：0952-28-2141

概要

佐賀新聞社では、マタニティーや乳幼児期の子育て世代を対象に、2009年から毎秋、タブロイド判の別刷り特集「出会う・つながる～子育て支援『ばぶばぶ』」（2013年は32ページで発行）の発行とイベントを開催しています。

別刷り特集は佐賀新聞購読者に折り込み配布しています。「一人で悩まないで……」を趣旨に子育て支援センター、助産師、栄養士、歯科医、臨床心理士らのメッセージを掲載し、“保存版”としてファミリーサポートセンター、病児・病後児保育などの関係機関を一覧にまとめています。「子育て『その日、その時』」のタイトルで読者から募った写真とメッセージも紹介しています。

イベント「ばぶばぶフェスタ」は別刷り特集の発行直後に、佐賀県との共催で単日開催しています。育児相談や子ども・母親の健康相談など、別刷り特集の内容を体験できる場にしているほか、園児らのステージ、子育てサークルのミニイベント、子育て関連企業・団体のブース出展、動物ふれあいコーナー、働く自動車の試乗などを実施しています。

別刷り特集の広告掲載、イベント出展を基本にした協賛は約50企業・団体で、2013年は10月25日に特集を発行、「ばぶばぶフェスタ」を同月27日に開催し、約1万3,000人の親子が訪れました。



別刷り特集の表紙(左)と特集紙面(右)
(2013年10月25日発行号)

企画が生まれた背景や意図・ねらい

核家族化や地域コミュニティの希薄化で「育児の孤立化」が課題になる中、「出会う・つながる」をキーワードに掲げて始めました。別刷り特集とフェスタ、その機会になることを願い、子育てを「地域」で支える各地の取り組みの後押しも意図しました。

県委託の「子育て応援の店事業」と連動させているほか、「ばぶばぶフェスタ」は新聞社が全社的に協力して実施しています。各部署でそれぞれ子育て世代向けの企画があり、紙面やウェブ展開だけでなくブースも出展し、読者との交流の場にしています。

反響

2013年度で5年目となり、継続的な取り組みとして定着してきました。別刷り特集は、初年の24ページから12年28ページ、13年32ページに拡充し、協賛社も年々増えています。

フェスタは初年を除き、1万人を超える親子が訪れています。年を追うごとに協賛企業・団体は子ども向けの趣向を凝らしたブースを展開し、子育てサークルの自主企画イベントも充実してきました。アンケートでは「年に数回やってほしい」などの声が多く寄せられており、子育て関連団体からは「フェスタに参加したい」との問い合わせも多数あります。



イベント「ばぶばぶフェスタ」を告知するチラシ



「ばぶばぶフェスタ」での園児ステージ



「ばぶばぶフェスタ」での
子育てサークルによる自主イベント

毎年秋に別刷り特集&イベント